

も く じ



はじめに

- ガイドの活用方法 ...
- 各章のご案内 ...

第 1 章	基本的な理解と対応	- 1 -
1	不登校への対応の基本的な考え方	- 2 -
2	一人ひとりの児童・生徒に応じたきめ細かく柔軟な対応	- 3 -
3	学ぶ喜びを実感できる魅力ある学校づくり	- 7 -
4	神奈川県の不登校児童・生徒の現状について	- 8 -
第 2 章	「協働チーム」とそれを支える校内ネットワーク・地域相談支援ネットワーク	- 9 -
1	「協働チーム」を作ろう	- 10 -
2	「協働チーム」を支える校内教育相談・支援システム	- 11 -
3	「協働チーム」の核となる教育相談コーディネーター	- 12 -
4	校内教育相談・支援システムを支える地域ネットワーク	- 15 -
	〔資料 1〕地域のリソース・マップ	- 17 -
	〔資料 2〕書き込み式・学校のリソース一覧	- 26 -
第 3 章	チームで取り組む不登校への対応～理解と実践～	- 27 -
	不登校サインに気づき、チームで対応するために	- 28 -
1	児童・生徒の「困っている」状況に気づく 「気づくためのシート（学級用）」を活用する	- 28 -
2	「気になるな」と感じたら... 「気づくためのシート（個人用）」を活用する	- 30 -
3	欠席に敏感になる。児童・生徒が欠席をしたら... 「不登校早期対応案」	- 32 -

不登校への対応10のステップ	- 34 -
ステップ 1 援助が必要なところや気になるところの情報を収集し具体的に記入します。	- 38 -
ステップ 2 ストレス因を推察します。 (子どもが、ストレスに感じていることや困っていること)	- 39 -
ステップ 3 リソースを見つけます。 (いいところ、うまくいっていること、ストレス対処法、趣味・特技等)	- 45 -
ステップ 4 これまでの指導援助の結果やソーシャル・サポートの状況を振り返ります。	- 46 -
ステップ 5 サポーターを探します。生活軸を広げます。 (サポーターズ・マップを利用)	- 47 -
ステップ 6 指導援助に役立つ「見極め」及び「現在地の了解」を行います。	- 52 -
ステップ 7 短期目標と指導援助方針(1～2か月)を立てます。	- 55 -
ステップ 8 PLAN 指導援助計画を作成します。	- 57 -
ステップ 9 DO 具体的に取り組む際に必要な事項を確認します。	- 65 -
ステップ 10 SEE 次回のチーム会議予定日を確認します。	- 65 -

第4章 子ども理解に基づく日ごろの指導援助 - 67 -

子ども理解に基づく一人ひとりに応じた日ごろの指導援助 - 68 -

- 1 児童・生徒への見方や感じ方の感度を高める - 68 -
- 2 「困っている子ども」への理解と対応のポイント - 69 -
 - 「困っているのは子ども」
 - (1) 「『我慢してなさい』とか『しっかりしなさい』って怒られてしまうことが多いんだ。」 - 70 -
 - (2) 「友だちとケンカになっちゃって怒られたり、ルール違反だって言われることがあるんだけど、何をすればよいのかよく分からなかったんだ。」 - 72 -
 - (3) 「後でさあ、『しまった』って気がつくんだけどね。むかつくと頭が真っ白になってキレちゃうんだよ。」 - 74 -
 - (4) 「『やればできる！がんばれ！』って言われるんだけどさ、私なりに一生懸命に勉強やってるんだよ。でも覚えられないし、授業分らないからつまらないんだ。」 - 76 -
 - (5) 「大人は気づいてないけどさ、時々疲れたって感じるとき、確かにあるよ！」 - 78 -
 - (6) 「せんせい！おなか、痛い(あたま、痛い)」 - 79 -

学ぶ喜びを実感できる魅力ある学校づくりへの視点 - 80 -

参考・引用文献一覧 - 82 -